

学習展開例

対象校種：小学校 授業時間 90分
対象教科：5年社会



海陽町立海部小学校
教諭 溝内正剛

執筆

米作りは子育て 失敗を楽しむ

児童生徒の思考の流れと活動の流れ	教師の支援と評価
<p>稲作農家の方たちは、生産を高めるためにさまざまな工夫や苦勞をしながら、お米を作っている</p>	<p>○これまでに学習してきた稲作農家の仕事について振り返る場を設定する。</p>
<p> 番組視聴（開始～3分25秒） 駅弁マニアをうならせる、「1日30食限定3,800円」と、その場で買える駅弁としては日本一高い駅弁。最も反響が高いのは、1kg1,500円の石井さんのお米である</p>	<p>○単元の発展として、日本最高峰の米作り農家である石井さんについて知らせる。 ○開始から3分25秒後の主題曲の後、一時停止する。</p>
<p>そんなに評判がよくて、とても高く売れるなんてすごい！</p>	<p>○番組を見て驚いたことを聞く。</p>
<p>石井さんのお米がそんなに高く売れるのはなぜだろうか？</p>	<p>○番組を見て疑問に思ったことを聞き、学習問題を発見できるようにする。</p>
<p>手間をかけている 有機農法 おいしくて品質が良い</p>	<p>○石井さんのお米が1kg1,500円で売れる理由を予想し、ノートに書く場を設定する。</p>
<p>番組視聴（3分25秒～最後）</p> <p></p>	<p>○予想と比べながら番組を視聴し、高く売れる秘密を見つけた際にはメモを取るように助言する。</p>
<p>稲を甘やかさず、厳しくしつけながら、生命力あふれる米を生み出している</p> <p>40年以上前から有機栽培に取り組み、安全で美味しい米作りをしている</p> <p>借金地獄や異常気象に負けない情熱でがんばり、米作りの匠になった</p>	<p>○番組を視聴して見つけた「1kg1,500円で売れる理由」について話し合う場を設定する。 ○「型破りな栽培方法」「有機栽培」「石井さんの努力」の視点から、子供の意見を板書に整理する。</p>
<p>石井さんは、稲を甘やかさず厳しくしつけながら、生命力あふれる米を生み出したり、登熟する時期をずらしたり、40年以上前から有機栽培に取り組んだりするなど、さまざまな工夫をして、安全で美味しい米作りをしているからそんなに高く売れる。それを可能にしたのは、石井さんの「稲は人を見て育つ」「愛があるから厳しくできる」「畏れを忘れず、あきらめず」「信じる」「苦勞の数だけ、豊かに実る」といった、米作りにかかる情熱と信念だ。</p>	<p>○次の観点の意見を強調して取り上げる。 ・農法について ・目指す米について ・匠の技について ・有機農法の苦勞について ・石井さんの半生について</p>
<p>稲作以外の農家についても、調べてみたい！</p>	<p>【関心・意欲・態度】 稲作農家としての石井さんの情熱・工夫・努力を共感的にとらえ、農家の仕事について、興味・関心を高めることができたか。</p>

キャリア